



京都地本ニュース

JR西労組

西日本旅客鉄道労働組合 京都地方本部

発行責任者: 藤森 健二
編集責任者: 濱本 祐輔

No.391 2025年1月1日

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 (京都駅構内 旧忘れ物センター 2階)

NTT 075-342-0850 FAX 075-342-0851

安全を基礎に明るい未来へ!

全組合員の参画で西労組運動を推進しよう!



ビッグプロジェクトの
成功に向けみんなで頑張ろう!

JR西労組京都地方本部

執行委員長 藤森 健二

新年あけましておめでとうござい
ます。
組合員の皆様には、公共交通機関
で働くものとしての使命を果たすべ
く、夏には非常に暑かった酷暑、長
く続いた残暑での業務や、様々な地
域でのイベントやインバウンド旅客
の対応など、日々安全安定輸送にご
尽力いただいておりますことに感謝
申し上げます。また、JR西労組京
都地本の活動にご理解・協力を頂い
たことに併せて感謝申し上げます。
本年も、私たちの原点である、安全
の確立を最優先課題として取り組み、
組合員とご家族の明るい未来に向け
て全組合員でJR西労組運動に取り
組んでいきましょう。

【安全の確立に向けて】
本年で、2005年4月25日に
発生させた福知山線列車脱線事故か
ら20年、伯備線触車事故から19
年、近江舞子駅触車事故から17年
栗東草津駅間の感電死亡労災から
7年が経過します。この間の労使の
取り組みにより、安全性や安全に対
する意識は確実に高まっています。
しかし、グループ会社・協力会社を
含め、交通事故による死亡労災や一
歩間違えば重大な事故につながる
事象も発生しています。また更に6
月には列車乱れを発端とした東海道
線茨木駅構内での貨物列車による退
避場面でのエラー、雑木伐採中や工
事中の墜落事象も発生しています。
私たちは、これらの事態を深刻に
受け止めなくてはなりません。いか
なる理由があっても決められません。ル
ールや基本動作を遵守し、危ないと思
じた時や安全が確認できない時は迷

わず列車・作業を止めることを再度
認識し、風土や環境づくりも含めた
「安全最優先」の取り組みを全力で
進めなければなりません。
そのためには、皆さんの考案が重
要です。何でも言い合える環境を作
りましょう。職場全体のコミュニ
ケーションが図られると、社員一人
ひとりのモチベーションも上がって
いきます。結果、職場内での課題解
決もでき、効果的で効率的な提案も
生まれてくるものだと考えています。
ぜひとも皆さんの力で「心理的安全
性」の高い職場(チーム)となるよ
うお願いいたします。

【明るい明日へ】
昨年は元日に能登半島で地震災害
が発生しました。お亡くなりになら
れた方に哀悼の意を表します。また
復旧・復興に向けて懸命に作業をさ
せていますが、今もお避難所生活
をされている方々もおられます。早
期に元の生活に戻れることを願っ
てやみません。JR西労組は、現地
のボランティアや能登鉄道グッズの
販売などを行ってきました。引き続
き、様々な形で息の長い支援を行っ
てまいりたいと考えています。
そのような中、2024年3月1
6日に北陸新幹線の金沢く敦賀駅間
の開業を迎えることができました。
敦賀駅での北陸新幹線への乗り換え
もスムーズに行うことができ、お客
様を北陸地域にこれまで以上に誘致
でき、賑わいをもたらしています。
更に本年4月からは、大阪・関西
万博が開催され日本全国のみならず
世界各国からのお客様をこの関西で
もてなすこととなり、その移動の一

翼を私たちJR西日本が担うことと
なります。大阪の地だけでなく、京
都や滋賀にも足を運ばれ、それぞれ
の地域において、「見て、食べて、
体感して」とお楽しみいただけるも
のをだと考えています。私たちはこれ
をチャンスと捉え、鉄道各社と航空
各社の業績をむしばみ、体力を奪わ
れたコロナ禍の危機からの反転攻勢
の機会としたいと考えています。1
0月までの長丁場となりますが、J
R西日本グループ全体で盛り上げて
いきましょう。

【組織の充実強化について】
今年度も、京都エリアに配属され
た新入社員や社会人採用、カムバッ
ク採用の方についても、入社された
方全員がJR西労組に加入いただい
ております。また昨年7月からは分
会が主導となり、加入活動行動にお
取り組みをいただき、各級機関役員
の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

2023年は、京都地本青年女性
委員会において、新入組合員歓迎会
としてWCC(ワールドカレクラ
シック)を2日開催し、京都地本と
してソフトボール大会、フットサル
大会を開催してきました。どのレク
リエーションにおいても、多くの
組合員の皆様にご参加いただき、他
の職場の方とも交流を図ることが
できました。本年も様々な形で工夫
を凝らし多くの組合員が参加できる
レクリエーションを開催します。ま
た、ライブプランセミナーをはじめ
とした、組合員のためになる各種勉
強会・研修会なども計画していきま
いと考えています。是非ともご参加
をお願いいたします。これまでも申
し上げてきましたが、家族支援共済
などの助け合いの精神で運営してい
る共済や、労働者の為の労金の積極
的な活用については、JR西日本で
働き、JR西労組に加入している優
位性を全組合員に認識していただき
たいと考えています。これから住宅
や車購入などを検討されている方に

ついては、是非とももうきんでのお
見積りと活用をお願いいたします。
これまで諸先輩方が助け合いの精神
で築き上げすばらしい制度となった
共済の未永い安定的な運営も含めて
各組織においての加入・活用の取り
組みを要請いたします。

【JR西労組の政策活動】
JR西労組の政策や組織などに関
わる課題の解決に向けては、政治活
動の取り組みは極めて重要であり、
無関心ではありません。そのことは、コ
ロナ禍や話題の北陸新幹線の延伸の問題
でもご理解いただいていると思いま
す。今後も組織内議員の皆さんにご
協力いただき、私たちの声を地域に
届けるためにも自治体訪問などの活
動を行っているためと考えています。
更に京都地本には三日月大造滋賀県
知事、梶原英樹京都府議、近藤宏和
向日市議、大伴聖長岡京市議もJR
西労組議員団会議に所属し、ご活躍
いただいております。各議員とも連
携を密にし、鉄道のみならず公共交
通の持続発展を基軸に、駅を中心と
した町づくりや、誰もが自由に移動
できる環境整備など、各地域での課
題解決とJR連合の政策提言の実現
に向け活動してまいりますので、皆
様のご理解ご協力と、無関心でも無
関係ではいられない政治への参加を
要請いたします。

本年もあらためて、安全を基礎に、
組合員と家族の皆様のかさを求め
て、「雇用の確保」「労働条件の向
上」「働きがい」「今後の環境変化
への対応」など、安心して働き続け
られるように「対立と協力」「力と
政策」を基本にJR西労組運動を進
めていきます。

本年が組合員の皆様とご家族に
とって幸多き年となりますよう祈念
し、年頭のご挨拶とさせていただきます。
2025年1月1日

